

## 情報アクセシビリティの実現に向けて 障害者権利条約の時代における、著作権と放送バリアフリー

2006年12月に国連で採択され、翌年9月に日本政府が署名した「障害者の権利に関する条約」は、情報、通信等のサービスや、文化的な作品などを利用し、享受すること - 「アクセシビリティ」を、権利として確保するという新しい視点を示しています。

このシンポジウムは、障害者放送協議会が取り組んでいる2つのテーマ、「著作権」と「放送・通信バリアフリー」を取り上げ、権利条約の新しい視点で捉えながら、障害当事者のニーズ、第一線の取り組み状況、また国の施策や最新技術動向の発表を交え、今後の方向性について議論していきます。

**日時** 2008年3月15日(土) 9:45 ~ 17:00  
**場所** 戸山サンライズ 2階 大研修室 (東京都新宿区戸山1-22-1 定員200名)  
**参加費** 無料 (手話通訳、要約筆記、点字資料あり)

### プログラム

- 09:45 開会挨拶
- 09:50 基調講演「障害者権利条約と情報アクセシビリティ」  
河村 宏 (国立身体障害者リハビリテーションセンター研究所)
- 10:30 <第一部> 著作権と情報アクセシビリティ  
報告「著作権をめぐる課題とニーズ ~当事者は何が必要か~」  
神山 忠 (岐阜県立関特別支援学校)(ディスレクシア(読字障害)当事者)  
佐藤 聖一 (日本図書館協会)(視覚障害当事者)  
西滝 憲彦 (CS障害者放送統一機構)(聴覚障害当事者)
- 11:10 座談「著作権と情報アクセス権の調和に向けて ~各分野の取り組み~」  
進行 井上 芳郎 (全国LD親の会)  
神山 忠 (岐阜県立特別支援学校)  
常世田 良 (日本図書館協会)  
西滝 憲彦 (CS障害者放送統一機構)  
成松 一郎 (出版UD研究会)
- 12:30 昼休み
- 13:30 <第二部> デジタル放送と情報アクセシビリティ  
ビデオプレゼンテーション  
「デジタルテレビ放送はここが問題だ ~当事者の声~」
- 13:50 講演「地上波デジタル放送の障害者利用に関わる施策の動向について」  
松川 憲行 (総務省情報通信政策局情報通信利用促進課長)
- 14:20 講演「デジタルテレビ放送の技術的動向と可能性」  
坂井 忠裕 (NHK放送技術研究所 人間・情報 認知科学研究グループ)
- 14:50 休憩
- 15:00 パネルディスカッション「誰もが利用できるデジタル放送に向けて」  
コーディネータ 寺島 彰 (浦和大学/日本障害者リハビリテーション協会)  
パネリスト 岩井 和彦 (全国視覚障害者情報提供施設協会)  
比嘉 豪 (全日本ろうあ連盟)  
高岡 正 (全日本難聴者・中途失聴者団体連合会)  
大嶋 雄三 (CS障害者放送統一機構)
- 17:00 閉会

プログラム、演題等は変更することがあります。

**申込方法・問合せ先**

申込用紙に必要事項をご記入の上、**3月5日**までにFAX、Eメール、または電話にて下記の連絡先までお申してください。(先着順・参加証などは特にお送りいたしません)  
参加費は、当日に受付にてお支払いください。

障害者放送協議会事務局(日本障害者リハビリテーション協会内) 原田、松田

電話:03-5292-7628 **Fax:03-5292-7630**

E-mail: rehab@dinf.ne.jp

http://www.normanet.ne.jp/~housou/0315/

**「障害者放送協議会 シンポジウム」申込用紙**

お名前			
ご所属			
ご連絡先	住所:	FAX:	
	TEL:		
	E-mail:		
シンポジウムに関するご連絡、今後のご案内等にものみ使用し、それ以外の用途には使用しません			
介助者	同行する	同行しない	
次の項目で必要がありましたらレ印をつけてください。			
手話通訳	要約筆記	磁気テープ	点字資料
車いすスペース	その他(	)	



**戸山サンライズ**

<会場へのアクセス>

**都バス**

- 宿 74 新宿駅西口 東京女子医大  
(小田急ハルク前より)  
(医療センター経由)
- 橋 63 山手線 新大久保駅 新橋駅行
- 橋 63 中央線 大久保駅 新橋駅行
- 国立国際医療センター前下車 徒歩5分

**地下鉄**

- 東西線 早稲田駅下車 徒歩10分
- 大江戸線 若松河田駅下車 徒歩8分